

本年度、乙訓青年会議所は35周年という節目の年を迎えます。この目まぐるしく変わる社会情勢の中、これまで先輩諸兄は設立当初からの変わらぬ熱い想いを持って地域に根ざした活動をして来られました。この脈々と受け継がれて来た活動を未来永劫継続させていく為にも、感謝と誇りを胸に新たなる乙訓づくりのビジョンを掲げ、更なる歩みを進めて行く必要があります。

これまで我々は2020年ビジョン「地球市民意識あふれる乙訓」や中短期ビジョンである新5ヶ年行動指針『笑顔があふれる「市民が主役」の乙訓創り』に基づいてまちづくり活動を行って参りました。そして公益社団法人として4年目を迎え、名実共に公益団体として活動している我々は、今後更に素晴らしい乙訓を創造する為にも先輩諸兄が築いてこられた活動を礎に、更なる進化が求められます。その為にも青年会議所が主体となり、行政、地域諸団体、市民が三位一体となれる地域コミュニケーションの場を設け、お互いの個性を尊重し合いながら同じ目標に向かって歩む事の出来る新しいネットワークを構築する事が必要不可欠です。このネットワークを構築する事が出来れば、地域の負託と信頼により一層応える事が出来ると考えます。

そこで本年度、まちづくり委員会では「和」を合言葉に活動して参ります。「和」とは人と人との調和を表し、「話」をもって人同士の繋がりから信頼を生み出し、強固な「輪」を創り上げる事を目指します。「輪」とはネットワークを表し、34年間築き上げて来られた活動を活かして更なるネットワーク構築を目指します。そして「まちの主人公が集う活気あふれる乙訓の創造」を実現すべく、地域諸団体の取り組みにも積極的に参加し、まちづくりについて互いに協力し合える関係が確立出来る活動を行います。6月オープン例会では「我々の乙訓をみんなでつくる」をテーマに、我々を含む地域諸団体が行われている多岐に渡る活動を知って相互理解を図り、その上で皆が同じ方向を目指すまちづくりの意義を見出し、より良いまちづくりの形としての35周年記念事業に繋がる例会を開催致します。そして未来の乙訓のあり方を共に考え、地域の大人が責任を持って将来を選択する機会を創る為にも、公開討論会を開催し市民主導型の社会へと繋げます。また35周年記念式典及び記念事業への協力も委員会メンバー一同、力を合わせて取り組んで参ります。更に今後の乙訓青年会議所の組織を強固なものにする為にも会員拡大活動に尽力し、地域の宝である子どもの育成事業にも積極的に参加して参ります。

最後に当委員会が乙訓青年会議所を代表して地域諸団体と関わっていく責任を自覚し、乙訓地域の発展を希求する団体である事を常に念頭に置いて、如何なる時も不動の心で地域のリーダーとなるべく活動します。その為にも私自身が積極的に想いを伝え、委員会メンバー一人ひとりが自分の考えを持って意見し合える委員会運営を行う事で、自己を研鑽し未来への原動力となれるよう活動して参ります。